

令和 4 年 8 月 26 日

資料提供

担当課室	農業環境・鳥獣害 対策室	農作物病虫害防除 所 紀の川駐在	農作物病虫害防除 所 有田川駐在
担当者	岩倉	弘岡	松山
電 話	073-441-2905	0736-73-2274	0737-52-4320

## 病虫害発生予察注意報(第4号)について

令和4年度病虫害発生予察注意報（第4号）を別添のとおり発表します。

令和4年8月26日

令和4年度病害虫発生予察注意報（第4号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：カキ、カンキツ、ナシ、ブドウ、キウイフルーツ
3. 対象地域：県北部、県中部、県南部
4. 発生量：多
5. 加害期間：5月中旬～
6. 注意報発表の根拠

果樹カメムシ類については7月14日付けで、県北部のモモ・カキ・ナシ・ブドウ・キウイフルーツを対象に病害虫発生予察注意報（第3号）を発表したところであるが、依然として平年を上回る飛来が認められている。また、8月以降、県中部、県南部においても多発傾向である。

- 1) 紀の川市粉河の予察灯における8月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが1167頭（平年511.1頭）（図1）、ツヤアオカメムシが568頭（平年190.5頭）（図2）であった。
  - 2) みなべ町東本庄の予察灯における8月1～20日の誘殺数は、チャバネアオカメムシが1899頭（平年1030.0頭）（図3）、ツヤアオカメムシが899頭（平年519.3頭）（図4）であった。
7. 防除上の注意事項
    - 1) 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きい。ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
    - 2) 山林に隣接するほ場では飛来が多く、集中して加害される傾向がある。
    - 3) カキでは「富有」、カンキツでは収穫時期の早い極早生ウンシュウミカンで被害が大きい。
    - 4) 台風通過後や強風後には、一時的にはほ場への飛来が多くなることがあるので注意する。
    - 5) 今後の発生動向については、農業環境・鳥獣害対策室のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報

(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070300/071400/boujyosyo-yosatsujyohou.html>) や各地域の振興局、JA 等の情報を参考にする。

6) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム

<https://pesticide.maff.go.jp/>) を参照し、適正に使用する。特に収穫が近いほ場では薬剤の収穫前日数に注意する。

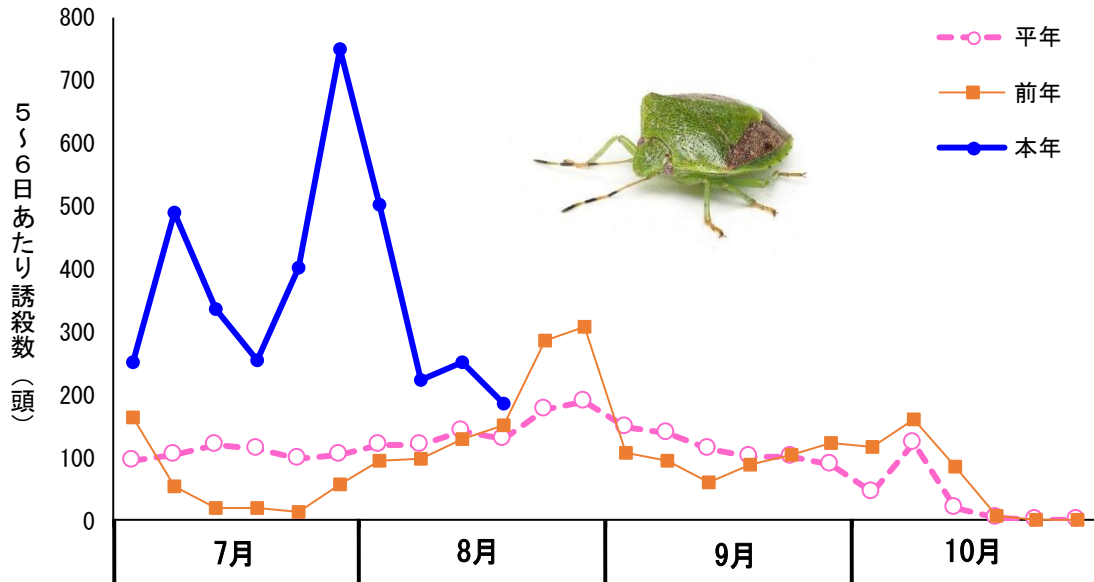


図1 紀の川市粉河の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長

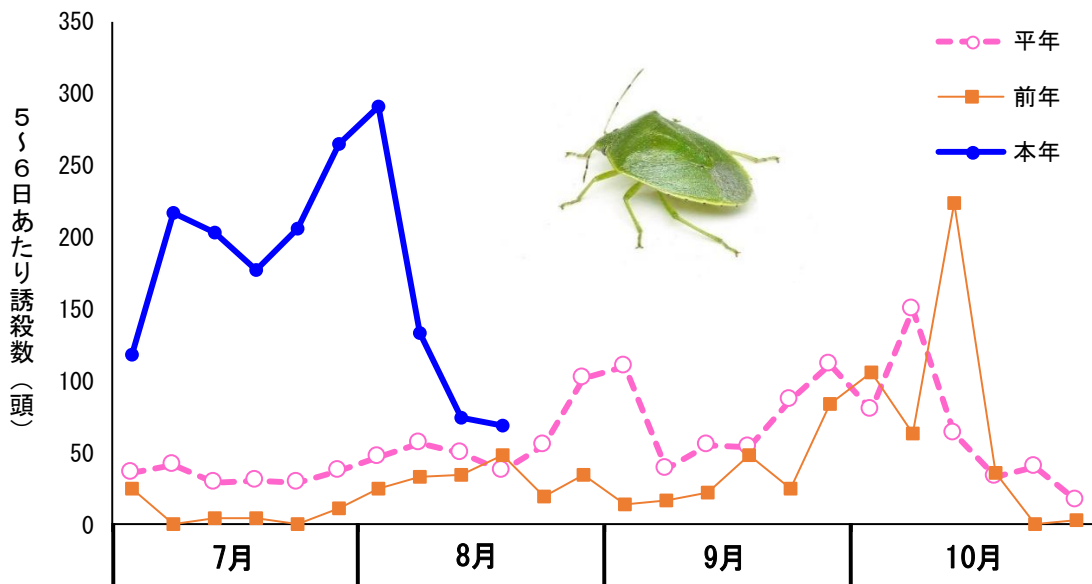


図2 紀の川市粉河の予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長

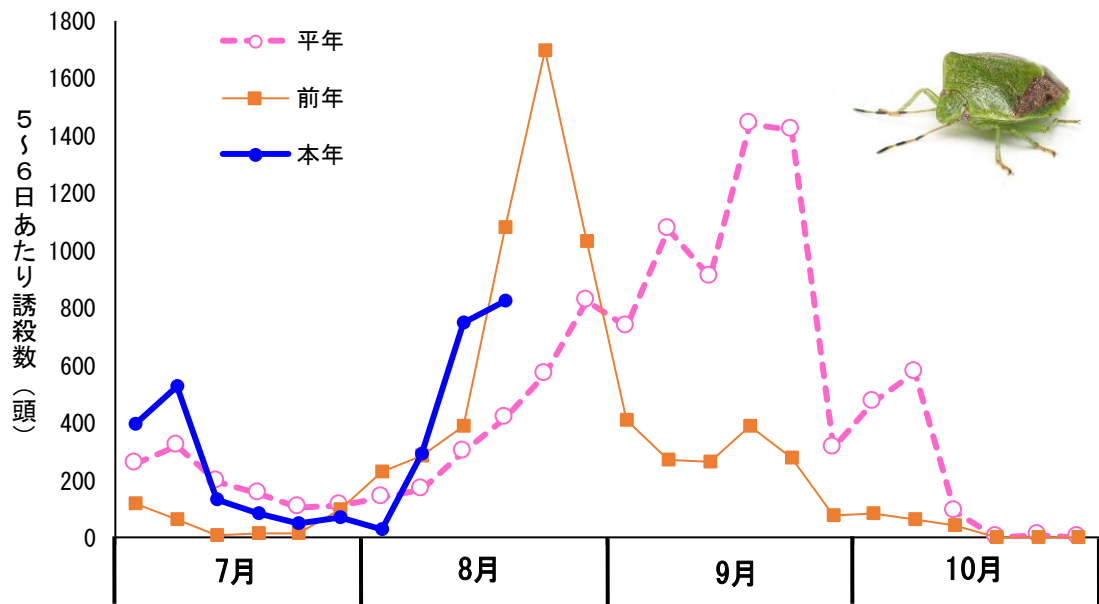


図3 みなべ町東本庄の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺消長

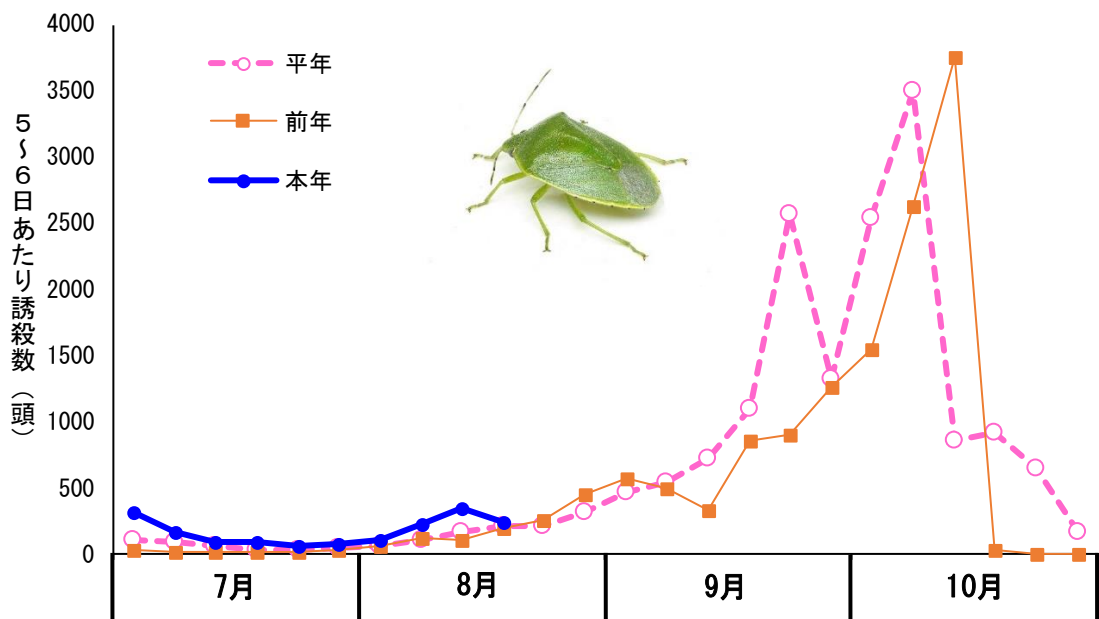


図4 みなべ町東本庄の予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺消長

和歌山県農作物病虫害防除所 紀の川駐在(0736-73-2274)  
有田川駐在(0737-52-4320)